

経済統計 受講上の注意 (2018 年度版)

担当者：河田 正樹

講義の目的と進め方

この科目ではさまざまな経済事象をあらわすデータによって、おもに日本経済の現況を知るとともに、それらがどのようにして作成されたものか、そのデータを使ってどのような分析ができるのかということ学びます。

- 講義形態：教室における講義。PowerPoint を用いた説明をおこない、講義時間の最後に内容の理解を確認するための練習問題をおこないます。講義を受講するうえで、知っておいてほしい基礎知識に関して予習を求めることもあります。また、講義時間中に実際のデータの所在を調べたり、Excel を用いたデータ分析をおこなったりと、ノート PC を用いた実習をおこなうこともあります。原則として、**毎回ノート PC を持参してください。**
- 出欠：講義開始時にカードで出席をとります。また、遅刻者には講義終了時に別のカードを配ります。出席はあくまで成績に加点するために用います。評価の基準については下の「成績評価について」の項を参照のこと。
- 授業中のマナー：携帯はマナーモードにしてください。練習問題は、隣の人との相談しながらやることはかまいませんが、説明のときの私語はつつしんでください。

成績評価について

中間試験(50 点満点)、**期末試験**(100 点満点)、**レポート**(2~3 回、合計 50 点満点)の合計で評価します。また、**出席点**(1回あたり 1 点、遅刻は 0.5 点として計算し、その合計点から 15 点を引いたもの)と webclass にある練習問題の自習状況や予習問題の状況など、平常点を評価した**ボーナス点**をその点数に加点・減点します。

基本点(計 200 点満点)

加点・減点 (-15 点~+40 点)

中間試験	50 点満点	+	出席点	1 回 1 点
期末試験	100 点満点		遅刻は 1 回 0.5 点	
レポート	合計 50 点満点		とし、合計から 15 点を引く	
			ボーナス点	Webclass の自習状況や予習問題の状況など (最大 25 点程度)

以上の合計点が下のいずれかによって成績評価します。

優 160 点以上 良 140 点~159 点 可 120 点~139 点 不可 119 点以下

使用テキスト

各章ごとに PowerPoint スライドのハンドアウトを配布します。スライドは講義用 HP にもおいてあるので、ハンドアウトの文字が小さい人は、ノート PC の画面上で確認する、あるいは、大きいサイズでプリントアウトするなりして、対応してください。

講義とほぼ同等の内容を扱う以下の参考書をあげておきます。欠席の内容を補う目的や、講義中の説明で十分理解ができなかった場合などに使用してください。

- 御園 謙吉・良永 康平 編 (2011)『よくわかる統計学Ⅱ 経済統計編』(第2版) ミネルヴァ書房 2730 円
- 佐竹 元一郎 編著 (2004)『経済の統計的分析』 中央経済社 3150 円
- 中村 隆英 ほか (1992)『経済統計入門』(第2版) 東京大学出版会 3045 円
- 廣松 毅 ほか(2006)『経済統計』 新世社 2940 円

また、日本経済の現況(諸外国のものも一部含まれる)を知るために、経済データ(できる限り最新のもの)や新聞記事などをプリントして配布します。

質問等

講義時間中の疑問はその場で解決するようにしてください。わからないことがあったら遠慮なく聞いてください。

出席カードの裏側に質問や講義に関するリクエストを書いてもらってもかまいません。この場合は、次回の講義においてその回答をします。

講義時間中以外に質問がある場合には、508 研究室を訪ねてみてください。また、オフィスアワーは木曜日の4限です。

また、e-mailでの質問も随時受け付けています。アドレスは kawada@tokuyama-u.ac.jp です。

講義用ホームページと webclass

事務連絡、出席状況、課題提出状況、関連 HP などのさまざまな情報を講義用 HP に掲載します。コンピュータ室や自宅から閲覧してください。

アドレスは <http://www2.tokuyama-u.ac.jp/kawada> です。

webclass には、さまざまな練習問題を掲載していきます。練習問題としては、講義内容の復習に役立つ基本的な問題から、さまざまな統計データを実際に調べて回答するような応用的な問題までとりそろえていきます。これらの自習状況は、平常点として加点します。